新潟県 教育月報 10月号

第848号
令和２年10月１日発行
編集人、発行人
新潟県教育委員会

＜今月号の記事＞

		対象校種
１：教育ニュースライン	Ｐ１	全種
２：メディカルコース・医療専攻の取組について	Ｐ２～４	高校
３：埋蔵文化財を活用した高校生向け出前授業について	Ｐ５	高校
４：新潟の魅力を再発見できる教育体験旅行について	Ｐ６	小中高
５：インフォメーション	Ｐ８～９	全種

教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

県立高田高等学校が、令和２年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会において審査委員長賞を受賞しました

令和２年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会は、全国222のスーパーサイエンスハイスクール指定校等が参加してオンラインにより開催されました。県立高田高等学校は、県内の高等学校として初めて二次審査を通過し、全国の代表６校による最終審査に進みました。最終審査はリモート会議システムを用いて８月28日（金）に実施され、審査委員長賞を受賞しました（同賞は高田高等学校を含め３校が受賞）。

発表テーマは「回転水槽実験における流体内部の可視化」です。回転水槽実験とは、水槽内の流体に温度差を生じさせ、水槽自体を回転させることで地球の中緯度地域の大気循環をモデル化するものです。

スーパーサイエンスハイスクールとは、先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて生徒の科学的能力や科学的思考力等を培うことで、将来国際的に活躍し得る科学技術人材を育成するための文部科学省の事業です。県内では、新潟南、新発田、長岡、柏崎、高田の５校が指定され、教育課程等に関する研究開発等に取り組んでいます。

第35期新潟県社会教育委員の会議「審議のまとめ」について

県の社会教育委員は、社会教育法に基づき、社会教育に関して教育委員会に助言をし、意見を述べるために設置されるもので、17名の委員で構成されています。

第35期新潟県社会教育委員の会議では、「活力ある地域づくりに向けた地域社会と学校の連携」をテーマに、２年間にわたり審議を重ね９月18日(金)に渡辺英美子議長から教育長に「審議のまとめ」の報告がありました。

「審議のまとめ」については、各市町村で御活用いただけるよう、市町村の社会教育委員及び教育委員会等に配布します。内容については、県のホームページでも御覧いただけます。

本審議のまとめが、行政及び学校、関係機関、団体の活動において活用され、具体的な取組がより一層充実することを期待しています。

【報告の様子】

メディカルコース・医療専攻の取組について

高等学校教育課

はじめに

本県の喫緊の課題の一つとして、「医師・看護職員の不足」が挙げられます。

厚生労働省や県の統計によれば、本県の医師や看護職員の現状と課題を次のようにまとめることができます。

１　医師数・看護職員数

本県の医師も看護職員も年々着実に増加しており、2018(H30)年末の医師総数は4,727人、看護職員数は27,917人です。しかし、将来時点（2036年度末）の本県における不足医師数は1,534人、また、年間不足養成数は109人と国から示されており、その確保は厳しい状況にあります。

２　医師・看護職員の年齢状況

2018(H30)年末における医師の平均年齢は51.8歳であり、看護職員の年齢階層別の割合は50歳以上が37.4％となっています。いずれも10年前より数値が上昇しており、医師・看護職員ともに高齢化が進んでいます。

３　医師・看護職員の充足状況

2018(H30)年末における人口10万人当たりの人数でみると、本県の医師数は210.5人(全国44位)、看護職員数は1,243人（全国30位）となっています。

医師の充足状況においては、国は新たに「医師偏在指標」（医療需要、将来の人口・人口構成の変化、患者の流出入、へき地等の地理的条件、医師の性別・年齢分布等を考慮）を示し、本県は全国47位と医師少数県に位置づけられました。さらに、県内の医療圏域でみると、新潟圏域のみが医師多数区域で、下越、県央、中越、魚沼、上越、佐渡の各圏域は医師少数区域に位置づけられ、医師の地域偏在も課題とされています。

一方、看護職員の人口10万人当たりの人数は全国平均を上回ってはいますが、県内病院の募集人数に対する採用人数の割合は７～８割程度で、求人倍率も全国平均より高い傾向にあります。

このような医師・看護職員の状況を踏まえ、県教育委員会では、高等学校に、平成19年度からメディカルコースを、平成24年度から医療専攻を設置し、医学科や看護学科などへの進学を志す生徒を支援するとともに、本県の課題解消に向けて努めています。

メディカルコースの取組と成果

メディカルコースは、医歯薬系進学希望者に対してよりきめ細かな指導を実施するため、平成19年度に新潟高校と長岡高校、平成28年度に高田高校、平成31年度に新発田高校のそれぞれの理数科に設置し、各校が特色ある取組を実施しています。その主なものを紹介します。

１　医療講演会

医療に従事するという強固な意志と高い倫理観の醸成、医学部医学科への進学意欲を維持向上させることを目的に、主に１・２年生を対象として、県内で勤務する医師等を講師に招いて講演会を各校で実施しています。

【講演テーマの例（令和元年度）】

新潟高校	1	病気とは何か
	2	地域医療
	3	循環器診療の最前線
	4	精神医学
	5	医学・医療の現代事情
	6	良寛さんの心
	7	脳の話
	8	医学の道へ進むことを考えている高校生の皆さんへ
	9	医療職を目指す新潟高校生に期待する
	10	死について考える

長岡高校	1	救急・災害医療の実際 ～災害を通して実際の現場を理解する～
	2	麻酔って何？麻酔科医ってどんな人？ ～ｳｨﾘｱﾑ･ﾓｰﾄﾝからﾏｲｹﾙ･ｼﾞｬｸｿﾝまで～
	3	整形外科の疾患について
	4	認知症について
	5	呼吸器の構造と機能
	6	新しい免疫疾患、IgG4関連疾患との出会い
	7	人工腎臓と人工臓器について
	8	医師になるかもしれない皆さんへ
	9	地域医療について

２　病院見学・医師体験

実際の講義の体験や見学をとおして、医学科進学に対するモチベーションを高めること等を目的に、県内の病院の御協力のもと、各校で実施しています。

【高田高校の例（令和元年度）】

月	種別	訪問医療機関
５月	見学	上越地域医療センター・県立中央病院
７月	体験	新潟大学医歯学総合病院
８月		県立中央病院
12月		上越総合病院

【医師体験の様子】

新発田高校では令和２年度２年生からメディカルコースがスタートすることに伴い、令和元年度には１年生がコース選択を考える機会として、病院研修を実施しました。

【病院研修の様子】

３　課題研究

新潟高校では科目「課題研究」において、長岡高校と高田高校、新発田高校では、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール指定校の取組の一環として、理数科生徒全員がグループごとにテーマを設定して課題研究に取り組んでいます。

【メディカルコース課題研究テーマ（長岡高校の例）】

「日本人のダイエットやり過ぎ問題」
「漢方と化学薬品について」
「効率よく寝るための最適な方法とは」
「日本の解剖率」　など

４　卒業後の進路状況

メディカルコースから初めて卒業生が出た平成22年３月以降、医学部医学科への進学者数は毎年現浪合わせて100人前後で推移しており、平成13年度の進学者数50人と比べて２倍程度増加しています。また、令和２年３月のメディカルコースの卒業者（新潟・長岡・高田の３校）から、29人が現役で医学部医学科に進学しました。

メディカルコースの取組は県内の他の高校の取組にも影響を与え、医師になる決意を固めて受験に再挑戦する生徒も毎年一定数います。医学科への進学指導は今後一層充実させていく必要があります。

医療専攻の取組と成果

医療専攻は、看護職員等の医療従事者に必要な教養や高い倫理観、強い責任感を身につけさせ、将来医療分野で活躍する人材を育成することを目的に、平成24年度に新潟西高校に、平成26年度に小出高校に、平成27年度に三条東高校にそれぞれ設置し、各校が特色ある取組を実施しています。

１　指導の流れ（新潟西高校７期生の例）

１年生（H30）	７月	医療系希望者対象講演会 「医療職を目指す新潟西高校生に期待する」
	12月	医療専攻希望者対象講演会 「看護師の仕事と役割、そして看護の力」
	２月	医療専攻希望者対象講演会 「医療現場の専門職と多職種連携について」

２年生（R元）	５月　医療専攻開講式 医療講演会Ⅰ「病院に勤務する看護師の仕事」 ６月　医療系職業研究・進路研究 病院見学①　新潟大学医歯学総合病院 ７月　救命救急法実習 医療系職業研究・進路研究 看護師体験と病院見学②　信楽園病院 ８月　医療講演会Ⅱ　「緩和ケア」 病院見学③　新潟医療センター 新潟大学医学部・県立看護大学のオープンキャンパスに各自参加 ９月　病院見学④　南部郷厚生病院 10月　医療講演会Ⅲ　「難病について知ってほしいこと」 医療講演会Ⅳ　「看護の変遷」 12月~3月　まとめ・パワーポイントによる発表資料作成
３年生（R２）	４月　医療専攻発表会 ※コロナウィルス感染拡大防止の観点から中止

２　地域との連携（小出高校の例）

小出高校では、地元の魚沼市立小出病院、魚沼基幹病院、北里大学保健衛生専門学院と連携して、講演会や施設見学の充実をはかっています。特に小出病院には、病院長をはじめ、看護師、作業療法士、社会福祉士として働く職員の貴重な講演をいただいたり、実習やワークショップ等が充実した「サマーセミナー」に参加させていただくなど、全面的な協力をいただいています。

【サマーセミナー（血糖値測定実習）の様子】

３　医療専攻発表会

医療専攻では、医療講演会や病院見学・実習で学んだことやより深く調べてみたいことをグループでまとめ、成果を発表する機会を設けています。この発表会は、これまでの学びの振り返りの機会となるとともに、進路実現に向けた大きなモチベーションにもなっています。

【発表テーマ（三条東高校の例、令和元年度）】

「白血病と骨髄バンク」　「がん」
「難病支援」　「国際協力」
「在宅医療」　「チーム医療」
「医療技術と倫理について」
「包括ケアシステムについて」

【医療専攻を終えた生徒の感想（三条東高校の例、令和元年度）】

○　患者の立場でしか行かなかった病院に、医療従事者の目線で見るという経験をさせていただき、見え方が全然違うものになりました。
○　医療専攻の授業を通して「看護師になりたい。」という意欲が高まり、他の学習に対するモチベーションを上げるきっかけになった。
○　この一年間で自分がどんな医療従事者になりたいかを考えることができました。理学療法士になるため、日々の学習を頑張っていきたい。

４　卒業後の進路状況

令和２年３月に卒業した医療専攻の生徒のうち、専門性を生かした進学の割合は３校とも高く（新潟西高校80%、小出高校83.3%、三条東高校76.7%）、看護系学校には合わせて38名が進学しました。

おわりに

県教育委員会では、将来医療に貢献する人材の育成を一層支援するため、「医療系人材育成事業」や「医学部医学科体験講座」を実施しています。

今後も、生徒の夢の実現に向けて学力向上や様々な機会の設定に努めるとともに、医療系等の各分野をリードし、未来を切り拓いていくたくましい人づくりを目指した教育を推進していきます。

埋蔵文化財を活用した高校生向け出前授業について

文化行政課

はじめに

文化行政課では、ふるさとを愛する心と郷土の貴重な宝である文化財愛護の精神を醸成するために、文化財を活用した高校生対象の出前授業を、平成27年度から実施しています。新潟県の埋蔵文化財（遺跡）や史跡、考古学や歴史学の魅力を知る機会を提供することで、郷土愛を軸としたキャリア教育の推進に寄与できればと考えています。

本号では、出前授業の実施状況やアンケート結果等について紹介します。

授業の内容

出前授業の内容は、新潟県内における発掘調査の最新の成果に基づき、学校と相談しながら決定しています。対象とする時代は、埋蔵文化財として主に取扱う旧石器時代から戦国時代とし、各時代における新潟県の特徴を解説しています。

具体的な内容は、「黎明期の新潟」（旧石器・縄文時代）、「ヤマト政権誕生の頃の新潟」（弥生・古墳時代）、「律令国家形成期の新潟」（奈良・平安時代）、「中世の新潟」（鎌倉～戦国時代）などがありますが、近年では新潟県または地域の通史を要望されるケースが多いです。また、「歴史好きなあなたの就職先」「遺跡の発掘調査とは」など、キャリア教育と組み合わせて構成することにも対応しています。

講義のほか、普段は博物館のケースに収められていて触れることができない「本物の土器・石器」を実際に手に取りながら、観察のポイントと、そこから読み取れる情報を解説したりしています。

なお、令和元年度は、新潟高校、高田高校安塚分校（２回実施）の合計106名の生徒を対象に出前授業を実施しました。

アンケート結果と今後の展望

アンケートは、授業の前と後に実施しています。授業前は現状把握として日本史への興味や埋蔵文化財の周知度を知るための項目、授業後は内容の理解度や興味関心に関する項目を設定しています。

令和元年度のアンケートでは、授業前は、「日本史は好きな教科ですか」の設問に「好き」「どちらかというと好き」が75%、「好きではない」「どちらかというと好きでない」が25%でした。一方、授業後は、「よく理解できた」「おおむね理解できた」が98%、「とても面白い」「おおむね面白い」が95%と、おおむね好意的な評価が多く、関心を高めることができたのではないかと考えています。

おわりに

文化行政課では、今後も出前授業を通じて、魅力ある新潟県の歴史を知る機会を提供していきます。その中から、文化財保護に携わる人材が育つことを期待しています。

授業の内容については、御要望に応じて柔軟に対応しています。詳細については、文化行政課埋蔵文化財係までお問い合わせ下さい。

（埋蔵文化財係　℡：025-280-5620）

新潟の魅力を再発見できる教育体験旅行について

農林水産部地域農政推進課

はじめに

新潟県内の農山漁村地域では、小学生から高校生の教育体験旅行を受入れ、生産現場や食文化等の体験を通じて農林水産業や地域の伝統・文化の理解促進を図りながら、地域の活性化に取り組んでいます。

各地域での学習内容

多様な地域資源を活用して、日帰り～３泊４日など日程に合わせた体験プログラムを作成していますので、その一部をご紹介します。

１　糸魚川市

フォッサマグナミュージアムと現地学習（糸魚川-静岡構造線の断層露頭）を通じて「フォッサマグナ」を理解し、日本列島誕生の秘密や地球の営みと火山の働きを考えるプログラムがあります。

また、長者ヶ原遺跡や小滝川ヒスイ峡などで世界最古のヒスイ文化に触れることができます。

２　南魚沼市

田植え、稲刈りなど多数の農業体験以外にも、お米の出荷に使う丈夫な米袋を再利用したミニバッグの制作を通じてエコロジーについて学ぶプログラムがあります。

また、米どころ南魚沼市ならではの、食育に関しての体験学習や、わら細工などの伝統工芸を学ぶことができます。

【米袋バッグの製作】

３　阿賀町

阿賀野川を利用した船運の歴史と産業の発展を学ぶことや、中山間地の暮らしに触れて、地域や社会のために何ができるのかを考える探究学習ができます。

また、アケビのつる細工や木工体験など地域の素材や先人の知恵を生かしたもの作りの体験ができます。

【アケビのつる細工】

４　その他

魚沼市の尾瀬、上越市・十日町市のブナ林などを題材とした環境・自然学習、佐渡市の里山・棚田の継承を考える探究学習、小千谷市・長岡市の牛の角突きなどの伝統と震災学習などがあり、複数地域のプランを組み合わせた修学旅行にすることもできます。

おわりに

新型コロナウイルス感染症の影響で、修学旅行に行くことができない、又は行き先を検討している学校におかれましては、ぜひ農山漁村地域の訪問を御検討ください。

また、ホームページ「にいがたグリーン・ツーリズム」に教育体験旅行ガイドブックを掲載していますので参考にしてください。

【ガイドブックのQRコード】

インフォメーション

●県立近代美術館（長岡市）

【コレクション展　第３期】

○会　期　　10月13日(火)～12月20日(日)
○休館日　　毎週月曜日
　　(祝日の場合は開館、翌日休館)
○開館時間　午前９時～午後５時
　　(観覧券の販売は午後４時30分まで)
○内　容

［展示室１］

近代美術館の名品ー新収蔵品を中心にー

令和元年度に新しく収蔵された日本画や版画を中心に紹介します。

［展示室２］

生誕110年佐藤哲三 と 蒲原の画家達

蒲原の地に生きた佐藤哲三の作品を、仲間の画家達とともに紹介します。

［展示室３］

中村忠二　詩情と激情

何気ない日常を描いた中村忠二の世界を紹介します。

○観覧料　　一般430円（340円）
　　高校・大学生200円（160円）
　　中学生以下無料
※（　）内は有料20名以上の団体料金です。
※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。

佐藤哲三《帰路》1954 年

●県立万代島美術館（新潟市）

企画展
「ルート・ブリュック　蝶の軌跡」

《蝶》1957年
タピオ・ヴィルカラ
ルート・ブリュック財団蔵
Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation's Collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art
© KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2018 C2531

フィンランドの名窯アラビアのアーティストとして世界的に活躍したルート・ブリュック（1916－1999）。重厚でエレガントな釉薬の輝きを特徴とするセラミック作品を中心に、テキスタイルやスケッチを含めた約 200 点を通じ、アート、デザイン、建築をおおらかに乗り越えたその多彩な創作活動を日本で初めて網羅的に紹介します。
また、本県出身のグラフィックデザイナー・亀倉雄策（1915－1997）の旧蔵品であるブリュック作品や北欧の工芸品も特別展示します。

○会　　期　10月10日(土)～12月６日(日)
○休 館 日　毎週月曜日
　　(10月26日、11月23日は開館)
○開館時間　午前10時～午後６時
　　(観覧券の販売は午後５時30分まで)
○観 覧 料　一般1,100円(900円)
　　高校・大学生900円(700円)
　　中学生以下無料
※（　）内は有料20名以上の団体料金です。
※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で御提示ください。
※本展では、前売券の販売はありません。

【関連イベント】
◆学芸員によるギャラリートーク
○日　時　10月24日(土)、11月８日(日)、
　　11月21日(土) 各日午後２時～
○場　所　万代島美術館展示室
○その他　申込不要／当日の観覧券が必要

10 月９日(金)まで展示替えのため休館します。

【お知らせ】
・マスクの着用に御協力をお願いします。
・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容に変更が生じる場合もございます。
最新の情報は美術館ウェブサイト等で御確認ください。

県立近代美術館
住所　長岡市千秋３丁目278-14
ＴＥＬ 0258-28-4111
ＵＲＬ https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/

県立万代島美術館
住所　新潟市中央区万代島5-1　朱鷺メッセ内
　　万代島ビル5階
ＴＥＬ 025-290-6655
ＵＲＬ https://banbi.pref.niigata.lg.jp/

●県埋蔵文化財センター（新潟市）

埋蔵文化財センター見学会

土器の復元作業や木製品の保存処理など当センターならではの仕事を見学し、本物の縄文土器を間近で観察します。大人のための見学会です。

○期　日　11月18日（水）【金属製品の保存処理】
○時　間　午後１時30分～午後３時30分
○定　員　20名（要申込み、定員になり次第締切）
○参加料　無料

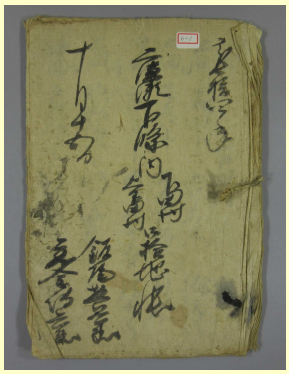
新潟県埋蔵文化財センター
住所 新潟市秋葉区金津93番地1
ＴＥＬ 0250-25-3981
E-mail niigata@maibun.net
ＵＲＬ　https://www.maibun.net

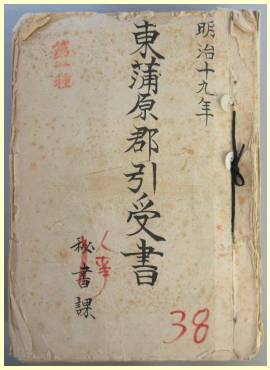
●県立文書館（新潟市）

令和２年度特別企画展「THE 公文書-語り継がれる歴史-」

新潟県では、公文書を「県民共有の知的資源」と位置付け、令和元年10月に「新潟県公文書の管理に関する条例」を制定しました。公文書に記録されているのは、後世に語り継がなければならない『人びとの歩み』です。江戸時代以降の公文書から、新潟県の歴史の一部を紹介します。

○会　　期　10月27日(火)～11月８日(日)
○休 館 日　毎週月曜日(祝日の場合は開館)
○開館時間　午前９時30分～午後５時
○会　　場　新潟県立文書館
○観 覧 料　無料　　※申込不要
○展 示 品





【左図 広瀬下条内下田村・上下田村検地帳(F64-6)
右図 東蒲原郡引受書(H92 総地2)】

県立文書館
住所 新潟市中央区女池南３－１－２
ＴＥＬ 025-284-6011
ＵＲＬ
https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=569

●文化行政課　埋蔵文化財係

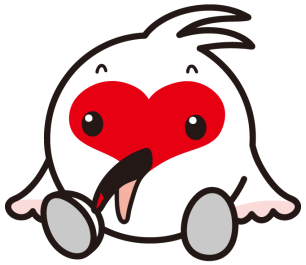
第１回新潟県考古学講演会「戦国時代の考古学－山城からみた魚沼の戦国時代－」

津南町で発掘調査をしている県史跡今井城跡の調査成果について、地元津南町の担当者が報告します。その上で、県内外の考古学や文献史学を専門とする外部講師が講演し、戦国時代の越後・魚沼の特質について考えます。

○期　日　11月15日(日)
○時　間　午後１時00分～午後４時25分
○会　場　津南町公民館ホール
（中魚沼郡津南町大字下船渡丁2806-3）
○講　師　原　眞氏（今井城跡調査整備指導委員会委員「上野地方の城館研究からみた越後の戦国時代」）ほか
○参加費　無料
○定　員　85名（要事前申込み、応募者多数の場合は抽選）
○申　込　下記に11月４日(水)までにお申し込みください。
※情報保障（手話通訳）あり

【今井城跡主郭】津南町教育委員会提供

新潟県教育庁文化行政課埋蔵文化財係
住所 新潟市中央区新光町4-1
TEL 025-280-5620　FAX 025-280-5764
E-mail ngt500080@pref.niigata.lg.jp



●世界遺産登録推進県内巡回講演会（長岡市）

「佐渡金銀山の魅力と価値を知る」

世界遺産登録を目指す佐渡金銀山について、その価値と魅力を県民の皆様に広くお伝えするため、県内での巡回講演会を開催します。
外部講師による講演のほか、職員が世界遺産登録に向けた取組について報告します。

○日　　時　11月７日(土)
　　午後１時30分～午後３時(予定)
○会　　場　アオーレ長岡
　　３階　市民交流ホールＢ・Ｃ
　　(長岡市大手通１丁目４－10)
○参 加 費　無料(要事前申込)
○定　　員　50名
○講　　師　石川喜美子
　　(佐渡市世界遺産推進課指導員)
○内　　容　・講演
　　「佐渡金銀山をガイドする～ベテランガイドの視点で語る魅力と価値～」
　　・世界遺産登録への取組の現状報告
○申込方法　下記の電話番号へ御連絡ください。

※このほかに、12月に上越でも講演会を開催する予定です(講師は別の方になります)。
※新型コロナウイルスの感染防止のため、注意事項があります。詳細は、ホームページの「お知らせ」を御確認ください(下記URLからアクセスできます)。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、やむを得ず講演会を中止する場合があります。

新潟県教育庁
文化行政課世界遺産登録推進室
住所　新潟市中央区新光町4-1
ＴＥＬ 025-280-5726
ＵＲＬ https://www.sado-goldmine.jp/

佐渡を世界遺産に

※PDFファイルで御覧の方は、下線部(Webページアドレス)をクリックすると、直接該当Webページにジャンプしますので御活用ください。
※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。
「新潟県　教育月報」で検索してください。

教育月報

発行所　新潟県教育庁総務課
所在地　〒950-8570
　　新潟市中央区新光町４番地１
電　話　025-280-5587
ＦＡＸ　025-285-3766
E-mail　ngt500010@pref.niigata.lg.jp
Web版URL：
https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
＜無断転載を禁ず＞

令和３年度 全国高等学校総合体育大会（インターハイ） 新潟県開催競技種目の日程・会場

令和３年７月24日(土)から８月24日(火)までの会期で、北信越ブロック５県において全国高等学校総合体育大会が開催されます。本県開催の競技種目の日程・会場が決定しましたのでお知らせいたします。

競技種目	競技日程	開催地	競技会場
体操(体操競技)	８月９日(月)～８月11日(水)	上越市	リージョンプラザ上越
体操(新体操)	８月21日(土)～８月22日(日)	新潟市	新潟市東総合スポーツセンター
バスケットボール(男子)	７月25日(日)～７月30（金)	長岡市	シティホールプラザアオーレ長岡
			長岡市市民体育館
			長岡市北部体育館
バスケットボール(女子)	８月10日(火)～８月15（日)	新潟市	新潟市東総合スポーツセンター
			新潟市亀田総合体育館
			新潟市秋葉区総合体育館
相撲	８月６日(金)～８月８日(日)	糸魚川市	糸魚川市民総合体育館
弓道	７月29日(木)～８月１日(日)	上越市	謙信公武道館(新潟県立武道館)

○大会愛称
輝け君の汗と涙 北信越総体 2021

○スローガン
走れ北信越の大地を 跳べ北信越の大空へ

○シンボルマーク

○ポスター図案

令和３年度全国高等学校総合体育大会
新潟県実行委員会事務局
(新潟県教育庁保健体育課全国高校総体推進班)
電話　025-280-5700
大会公式ホームページURL
https://www.koukousoutai.com/2021soutai/